高齢者のみなさんがいつまでも住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう

『認知症初期集中支援チーム』が活動します!!

認知症初期集中支援チームとは？

医療・介護の専門職と認知症の専門医で構成されたチームで、那須町役場保健福祉課に設置されています。

こんな活動をします！

認知症、または認知症が疑われる方のご自宅を訪問して、お話を伺い、今後の対応を一緒に考え、日常生活での困りごとが改善できるよう、お手伝いします。あなたの個人情報は守られます。

対象となる方は？

那須町に住民票を有し、在宅で生活している40歳以上の方で、認知症または認知症が疑われる方のうち、次のいずれかに該当する方。

- ●認知症の診断を受けていない方。
- ●医療サービスや介護サービスにつながらない、または中断している方。
- ●認知症による症状が強く、対応に困っている方。

家族や地域に認知症の方で、医療・介護サービスが利用できていない方がいらっしゃいましたら・・・

まずはご相談ください

保健福祉課、保健センター
地域包括支援センターに相談

チーム員がご自宅を訪問します

ご自宅を訪問して困りごとや心配ごとの相談を伺います。

在宅生活を継続できるためのお手伝いをします

主治医や認知症専門医と連携を図りながら、ご本人に合わせた医療・介護保険サービス等の調整、ご家族へのサポートを（おおむね6か月間を目安に）行います。

地域の医療・介護・福祉専門職へ引き継ぎます

ご相談・問合せ

☎ 0287－74－3366（那須町役場保健福祉課地域支援係）

☎ 0287－72－5858（那須町保健センター）

☎ 0287－71－1138（那須地区地域包括支援センター）

☎ 0287－73－8881（高原地区地域包括支援センター）

認知症は早期診断・早期対応が重要です！

お気軽にご相談ください

家族がつくった『認知症』早期発見の目安

日常の暮らしの中で、「認知症の始まりではないか」と思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。

●物忘れがひどい

□今電話を切ったばかりなのに、相手の名前を忘れる
□同じことを何度も言う・問う・する
□しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
□財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

□料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
□新しいことが覚えられない
□話のつじつまが合わない
□テレビ番組の内容が理解できなくなった

●時間・場所がわからない

□約束の日時や場所を間違えるようになった
□慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

□些細なことで怒りっぽくなった
□周りへの気づかいがなくなり、頑固になった
□自分の失敗を人のせいにする
□「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

□ひとりになると怖がったり、寂しがったりする
□外出時、持ち物を何度も確かめる
□「頭が変になった」と本人が訴える

●意欲がなくなる

□下着を変えず、身だしなみを構わなくなった
□趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

ひとつでも気になることがある方はお気軽にご相談ください！